

様式第2号（6関係）

附属機関等の名称 会議概要	
1	審議会名 第2回交流学習センター施設検討委員会
2	日 時 平成18年3月14日 午後7時00分から午後9時15分まで
3	会 場 明科子どもと大人の交流学習施設「ひまわり」 2階講義室
4	出席者 丸山委員、草深委員、中島委員、細野委員、松尾委員、中田委員、藤原委員、巻山委員、中嶋委員、細萱委員、小口委員、赤沼委員、曾根原委員、三枝委員、松田委員、益子委員、細川委員（まちづくり推進課長）、松枝委員（社会教育課長）
5	市側出席者 望月教育長、高原生涯学習係長、財津主査、塩原主任、丸山生涯学習係長、下里主査、生松生涯学習係長、高橋生涯学習係長、竹田教育課長補佐、堀内福祉係長
6	公開・非公開の別 公開
7	傍聴人 0人 記者 3人
8	会議概要作成年月日 平成18年3月20日
協 議 事 項 等	
1. 会議の概要 （1）開会 （2）あいさつ （望月教育長） （3）経過説明 （事務局より前回会議内容及び配付資料について説明） （4）協議 （5）閉会 2. 協議概要 ① 事業実施に係る根幹事項の検討 - 三郷、穂高、豊科の旧検討委員会での検討の経過説明（各委員） - 明科「ひまわり」の建設までの経緯、現状の説明（事務局） - 日本図書館協会の基準をもとに安曇野市の現状を説明（事務局） <以下協議内容> - これまでの経緯の説明により、図書館がそれぞれの地域に必要なだと分かったが、既存の施設を活性化することにも、力を入れるべき。安曇野市全体としての観点で考えなければ、この検討委員会の意味はなく、一つ一つを建てると50億円もかかる。立派な入れ物を作って、身近なものがないがしろになっている気がする。 - 穂高と三郷は大きな予算を使って、色々な施設を作ろうとしている。三郷はこれだけの規模の児童館が必要なのか、穂高の顕彰館も、堀金の臼井吉見館を考えるとどれだけの人が見に来ているのかとも思う。芸術の専門家がやっている所と一緒に考えれば効果が上がるのではないかなと思う。 - 三郷には児童館が1つもない。図書館を有効活用されると期待し、早い完成を望んでいる。形態は明科のものと近い。 - 合併前の事にこだわってはい話が進まない。安曇野市として相応しい図書館はどういうものかを考えねばならない。多少時間がかかっても、恥ずかしくないものを作るべき。	

- ・（今回の資料中）駒ヶ根市の図書館は登録率が高い。それほど充実した蔵書数ではないのだが、借りやすい雰囲気なのか。お金をかければ良いというものでもないと思う。
- ・図書館というのは、人を育てるという観点から考えると、幼児から老人まで幅広く使われる施設なので、それぞれの要望に合わせたものを作らなければならないと思う。箱物より中身が大事。
- ・中央図書館という構想も必要ではないか。
- ・図書館は使いやすいのが1番。近くに図書館が欲しいというのは住民の気持ち。5つの図書館で1つの大きな図書館になるという考え方はどうか。専門書が散らばるかもしれないが、安曇野市としての特色が出るのでは？足りない部分はネットワークで補えばよい。
- ・使う側としては、1ヵ所で全部見られた方が良い。
- ・市になったのだから1つの立派な図書館を作ったら良いという意見が強いが、図書館というのは幼児から老人まで、気軽に利用できるという事が大切。中央図書館があって、各地にふさわしいものがあったら良い。
- ・児童館と図書館は、需要・ニーズ・あり方が基本的に違い、併せたものを考えると混乱する。児童館はそれぞれの地域で単独で考えられる。図書館は、勉強の場として使っている学生と、交流の場としている大人の利用がある。学習の場や交流の場は、地域の公民館を有効に利用すれば良い。また資料館についても、それがあつた場所が展示する場と考えれば、建物は改めて造ることはない。インフォメーションセンターと蔵書館を作れば、ある程度カバー出来る。子供からは、映画館が欲しいという声もある。それぞれのニーズをキャッチしながら、どういうものが求められているのか整理する必要がある。
- ・三郷の児童館は少しでも早く必要。
- ・児童館の代わりに利用できる施設はないのか。公民館は必ず地域にあり、子供も行き易く、親も迎えに来やすいのでどうか。
- ・各地区に公民館の分館があつて利用することが大事であると思う、それを利用するにしても、中央にきちんとした児童館があつて連携をとりながら、広範な子供たちに利用される児童館が望ましい。
- ・児童館については、次回までに資料を集めて改めて検討。図書館について検討をすすめたい。
- ・中央図書館を作り、ある程度の蔵書と専門書を全部集め、各地域には図書室を作りインターネットで結び、必要な本を翌日には届けられるようなシステムが可能。この場で議論するだけでなく、近隣の市の図書館を見学したり、もっと資料を集めたりして、良いものを見て勉強する必要がある。広い視野で、よその図書館より良いものを作っていきたい。

- ・ 3月1日から、安曇野市の5つの図書館が、ネットワークで結ばれた。皆さんの携帯電話や、パソコンからも検索出来るようになった。市役所は総合支所方式をとっていて、毎日、支所間を車で回っているの、例えば明科の人が穂高の図書館の本を借りたい場合に、明科図書館で申し込むと1～2日で届けられる。視察についても考えている。近隣の施設や、安曇野市の5つの図書館についても、見て知ってもらふ必要もあると思うので、その辺の希望を伺いたい。(事務局)
- ・ 富士見の図書館は複合施設で、賑わっている。資料を取り寄せて何かヒントを得られればと思うが。
- ・ 富士見の図書館は、貸し出し数が多いという事で有名。ただし、中央図書館と分館というシステムは学べないと思う。
- ・ 富士見の場合、別荘地なので、夏場に貸し出される数が多いと聞いている。駒ヶ根の施設も特徴があるようなので、調べる。(事務局)

② 次回会議開催について (益子委員長)

- ・ 視察は、(次回) 3月29日に安曇野市と近隣の施設という事で予定。

以上